

追加型投信／海外／株式

# JPモルガン・ アメリカ成長株ファンド (為替ヘッジあり、年1回決算型)

## 第 3 期 交付運用報告書

(決算日：2024年1月25日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「JPモルガン・アメリカ成長株ファンド（為替ヘッジあり、年1回決算型）」は、去る1月25日に第3期の決算を行いました。

当ファンドは、主として米国の株式を実質的な主要投資対象とすることにより、信託財産の中長期的な成長をはかることを目的として運用を行います。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<お問い合わせ先>

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

TEL 03-6736-2350

(受付時間は営業日の午前9時～午後5時)

[am.jpmorgan.com/jp](http://am.jpmorgan.com/jp)

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。運用報告書（全体版）の閲覧方法：上記URLにアクセス ⇒ 画面右上の検索マーク🔍を選択 ⇒ 当ファンドの名称を入力して検索 ⇒ 運用報告書（全体版）を選択

第3期末（2024年1月25日）	
基準価額	10,323円
純資産総額	2,481百万円
第3期 (作成対象期間：2023年1月26日～2024年1月25日)	
騰落率	26.8%
分配金（税込）合計	0円

(注) 騰落率は収益分配金（税込）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注) 当報告書における比率は、表示桁未満四捨五入です。

(注) 「GIMアメリカ成長株マザーファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）」は「アメリカ成長株マザーファンド（為替ヘッジあり）」または「マザーファンド」ということがあります。

(注) 「JPモルガン・フランス-USクロス・ファンド」は「米国株式ファンド」ということがあります。

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

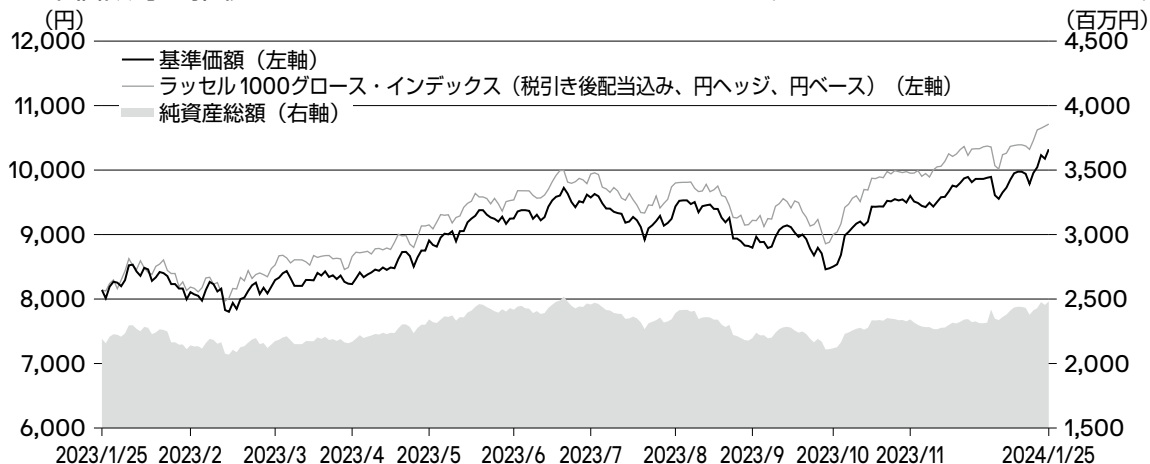
〒100-6432 東京都千代田区丸の内2丁目7番3号  
東京ビルディング

J.P.Morgan  
ASSET MANAGEMENT

## 運用経過の説明

### ◎基準価額等の推移

（2023年1月26日～2024年1月25日）



期首： 8,141円

期末：10,323円（既払分配金（税込）：0円）

騰落率： 26.8%

(注) 基準価額は、信託報酬控除後です（以下同じ）。

(注) ラッセル 1000グロース・インデックス（税引き後配当込み、円ヘッジ、円ベース）は、当ファンドの主要な投資対象であるJPM USグロース（1クラス）（円建て、円ヘッジ）のベンチマークであり、当ファンドのベンチマークではありません（以下同じ）。

(注) ラッセル 1000グロース・インデックス（税引き後配当込み、円ヘッジ、円ベース）はグラフの始点の日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注) ロンドン証券取引所グループplc及びそのグループ各社（併せて「LSEグループ」という）。© LSEグループ。FTSE Russellは、LSEグループが所有する一部の子会社の商号です。「FTSE Russell®」は、関連するLSEグループ各社の商標であり、ライセンスに基づきその他のLSEグループ各社によって使用されます。FTSE Russellのインデックスまたはデータのすべての権利は、当該インデックスまたはデータを保有しているLSEグループ各社に帰属します。LSEグループまたはライセンサーはいずれもインデックスまたはデータの誤りあるいは省略に対して責任を負いません。いかなる当事者も、この連絡に含まれるインデックスまたはデータに依存することはできません。LSEグループからのデータの追加配布は、関連するLSEグループ各社の明確な書面による同意なしに許可されることはありません。LSEグループは、この連絡の内容を宣伝促進、支援、推薦することはありません（以下同じ）。

### ◎基準価額の主な変動要因

当ファンドは、マザーファンドにおいて投資する米国株式ファンドの組み入れを高位に保つ運用を行いました。実質的に米国の株式を主要投資対象とする投資先の米国株式ファンドにおいては、保有証券の価格が上昇したことなどが基準価額を押し上げました。

◎1万口当たりの費用明細

(2023年1月26日～2024年1月25日)

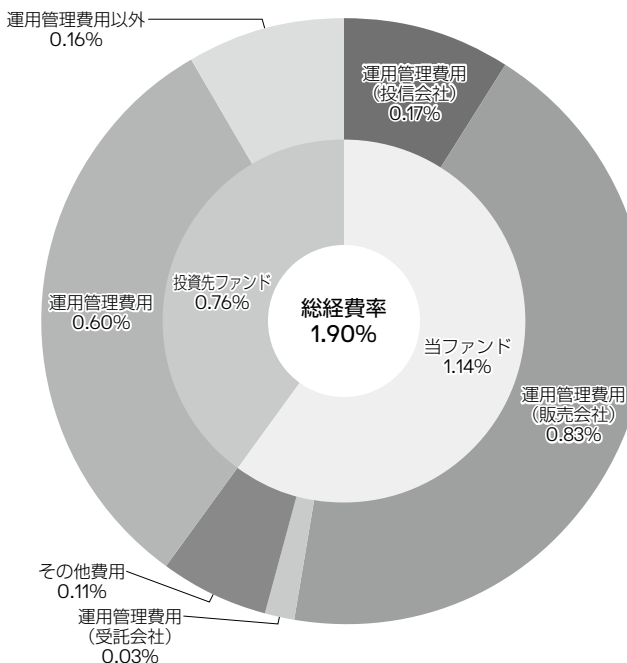
項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 ( 投 信 会 社 )  ( 販 売 会 社 )  ( 受 託 会 社 )	91 (15) (73) (3)	1.023 (0.165) (0.825) (0.033)	(a)信託報酬＝〔期中の平均基準価額〕×信託報酬率 投信会社 投資判断、受託会社に対する指図等の運用業務、目 論見書、運用報告書等の開示資料作成業務、基準価 額の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価 販売会社 受益者の口座管理業務、換金代金等の支払い業務、 交付運用報告書の交付業務、購入後の投資環境等の 情報提供業務、およびこれらに付随する業務の対価 受託会社 信託財産の記帳・保管・管理業務、委託会社からの 指図の執行業務、信託財産の計算業務、およびこれ らに付随する業務の対価
(b) その他費用 ( 監 査 費 用 ) ( そ の 他 )	10 (2) (8)	0.111 (0.022) (0.089)	(b)その他費用＝ $\frac{\text{【期中のその他費用】}}{\text{【期中の平均受益権口数】}}$ 監査費用 信託財産の財務諸表の監査業務の対価として監査法 人に支払われる費用 その他 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	101	1.134	
期中の平均基準価額は、8,904円です。			

- (注) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、当ファンドが組み  
入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各項目の円未満は四捨五入です。
- (注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
- (注) 各項目の費用はマザーファンドが組み入れている投資信託証券（投資信託受益証券および投資証券）が支払った費用を含んでおらず、上記以外に間接的に負担している主な費用とし  
て、マザーファンドが投資している投資信託証券には以下のものがあります。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における費用等については「組入上位ファンドの概要」  
に表示しています。
- ①JPM USグロース (Iクラス) (円建て、円ヘッジ) (JPM US Growth I-JPY(hedged) )
    - 運用報酬：純資産に対して年率0.60%
    - 事務管理報酬：実費（ただし、純資産に対して年率0.16%を上限とします。）
    - その他費用：有価証券の売買にかかる費用・税金、外貨建資産の保管費用、臨時で発生する費用、その他の税金等
  - ②GIMジャパン・マネーブル・ファンドF (適格機関投資家専用)
    - 信託報酬：年率0.1045% (税抜0.095%)
    - 監査費用：年率0.022% (税抜0.02%) ただし、年間330万円 (税抜300万円) を上限とします。

## （参考情報）

## ○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.90%です。



(単位：%)

総経費率 (①+②+③)	1.90
①当ファンドの費用の比率	1.14
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.60
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.16

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、アメリカ成長株マザーファンド（為替ヘッジあり）において組入れている投資信託証券です。

(注) それぞれの投資先ファンドの費用は以下簡便法により算出した合計値です。

JPM US グローブ (1クラス) (円建て、円ヘッジ)：当ファンドの目録見書に記載した当該投資先ファンドの運用管理費用を上記②とし、当該投資先ファンドの直近の計算期末時点におけるTER (総費用率) から上記②を差し引いた費用を上記③とする簡便法

GIM ジャパン・マネーボール・ファンドF (適格機関投資家専用)：当該投資先ファンドの直近の計算期末時点における運用報告書1万口当たりの費用明細において用いた簡便法

GIM ジャパン・マネーボール・ファンドF (適格機関投資家専用)の費用は、GIM マネーボール・マザーファンド (適格機関投資家専用) が支払った費用を含みます。

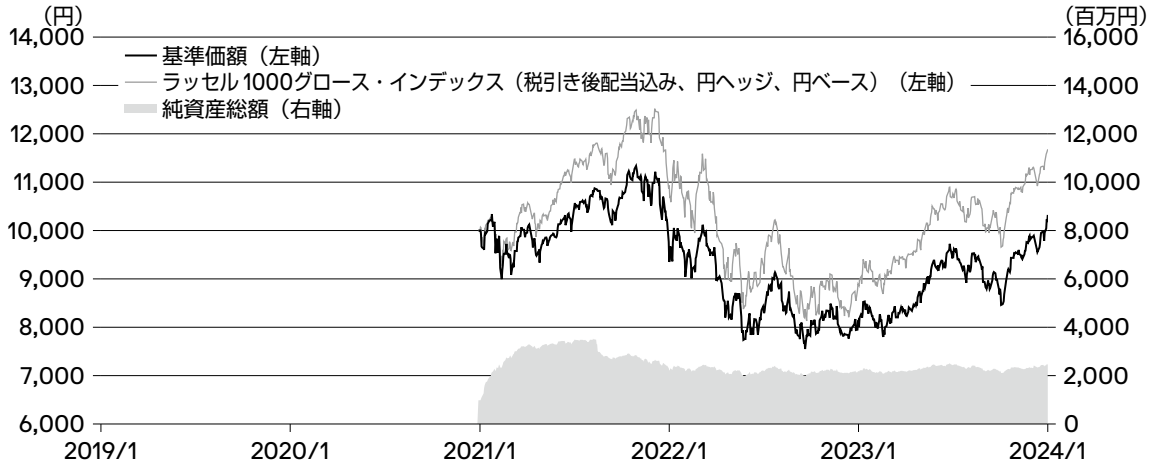
(注) 当ファンドの費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

◎最近5年間の基準価額等の推移

(2021年1月25日～2024年1月25日)



(注) ラッセル1000グロス・インデックス(税引き後配当込み、円ヘッジ、円ベース)はグラフの始点の日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

			2021年1月25日 設定日	2022年1月25日 決算日	2023年1月25日 決算日	2024年1月25日 決算日
基準価額 (円)	-	-	10,000	9,351	8,141	10,323
期間分配金合計 (税込) (円)	-	-	-	0	0	0
基準価額騰落率 (%)	-	-	-	△6.5	△12.9	26.8
ラッセル1000グロス・インデックス(税引き後配当込み、円ヘッジ、円ベース)騰落率 (%)	-	-	-	9.3	△18.8	31.6
純資産総額 (百万円)	-	-	980	2,212	2,190	2,481

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

【投資環境】

○米国株式市況

S&P500指数（価格指数、米ドルベース）は上昇しました。

- ◆期首から3月初めにかけては、FRB（米連邦準備制度理事会）による利上げが市場予想通りだったことで、利上げペース減速が期待され株価が上昇した一方、FRB高官による金融引き締めに積極的な発言が重しとなり、米国株式市場は一進一退の動きが続きました。
- ◆3月中旬、シリコンバレー銀行破綻に端を発する金融不安から、米国株式市場は一時大幅に下落しました。
- ◆しかしその後7月にかけては、高位なインフレ率を受けた金融引き締め長期化への懸念や債務上限問題が市場の重しになる場面もありましたが、良好な企業決算や経済指標の堅調さから景気の改善が意識され、米国株式市場は上昇基調で推移しました。
- ◆8月から10月末にかけては、金利上昇が株式市場にとって逆風となり、株価は下落しました。
- ◆その後期末にかけては、早期の利下げ転換を織り込む形で進んだ長期金利の低下などを受けて堅調に推移しました。底堅い経済指標や連銀高官の発言を受けて長期金利が反転したことから、一時軟調となる場面もありましたが、上昇基調で期末を迎えました。

\*S&P500指数は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが発表しており、著作権はS&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCに帰属しております。

## 〔運用経過〕

### 1) 基準価額の推移

- 当ファンド：基準価額の騰落率は+26.8%となりました。
- 組入ファンド：マザーファンドの基準価額の騰落率は+28.1%となりました。

### 2) 基準価額の主な変動要因

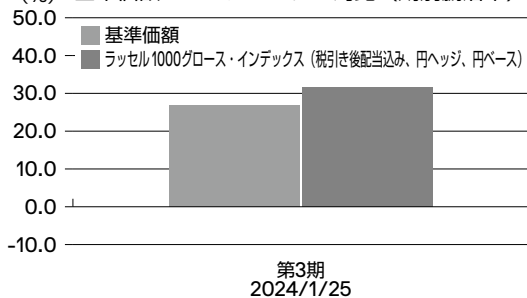
当ファンドは、マザーファンドにおいて投資する米国株式ファンドの組み入れを高位に保つ運用を行いました。実質的に米国の株式を主要投資対象とする投資先の米国株式ファンドにおいては、保有証券の価格が上昇したことなどが基準価額を押し上げました。

### 3) ポートフォリオについて

- 当ファンド
  - マザーファンドの受益証券を高位に組み入れました。
- マザーファンド
  - 米国株式ファンドを高位に組み入れました。また、米国株式ファンドにおいては、情報技術セクターや一般消費財・サービスセクターなどを高位に組み入れました。

## ◎当ファンドのベンチマークとの差異

(%) 基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 当ファンドはベンチマークがないため、ベンチマークに代えて当ファンドの実質的な主要投資対象であるJPM USグロース（イクラス）（円建て、円ヘッジ）のベンチマークとの対比を記載しています。

## ◎分配金

基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、無分配としました。留保益の運用につきましては、委託会社の判断に基づき元本部分と同一の運用を行います。

### 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込）

項目	第 3 期
	2023年1月26日～2024年1月25日
当期分配金	－
（対基準価額比率）	－%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	696

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。  
（注）円未満は切捨てです。当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の見通しと運用方針

### ◎今後の見通し

- ◆当社グループは、引き続き、経済のファンダメンタルズ（基礎的条件）と企業業績を注視しています。今後変更される可能性があります。S&P500構成企業全体の収益は2024年に約12%、2025年に約12%増加すると予想しています。
- ◆インフレ鈍化と経済成長見通しの改善により、ソフトランディングに向けた楽観的な見方が広がっています。しかし、米国においては、米大統領選や高い政策金利、地政学リスクが高まる可能性などを考慮し、2024年に経済が景気後退に傾くリスクは依然残ると見ています。市場の変動性が高い中、質の高い銘柄を選好しており、確信度の高い銘柄を中心とした銘柄選定を行っていく方針です。

### ◎今後の運用方針

#### ○当ファンド

マザーファンドの受益証券を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。

#### ○マザーファンド

米国株式ファンドを主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長をはかることを目的として運用を行います。今後も米国株式ファンドを通じて、主として米国の株式に投資を行う方針です。

## お知らせ

- ・2023年10月24日付で、新NISA成長投資枠の要件に適合させるため（信託期間の延長等）、信託約款に所要の変更を行っております。

## 当該投資信託の概要と仕組み

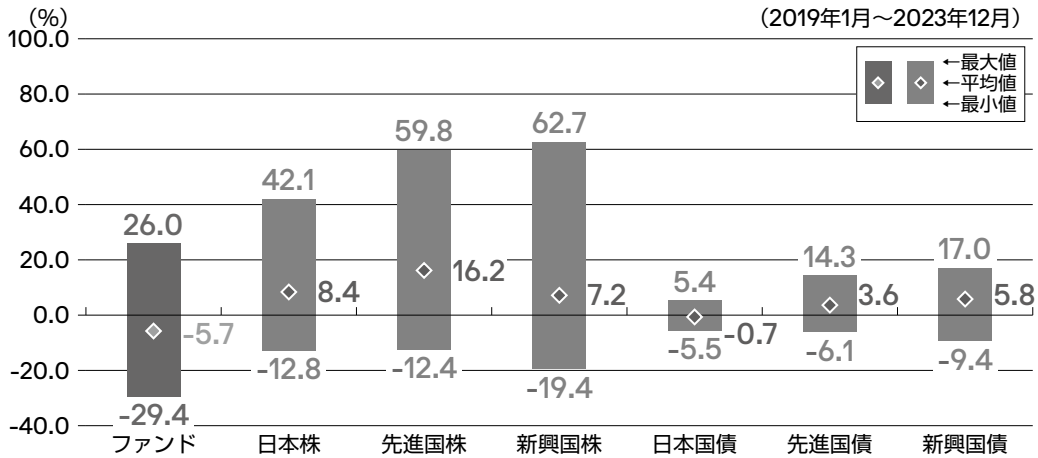
商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2021年1月25日から2044年1月25日（休業日の場合は翌営業日）までです。	
運用方針	マザーファンドを通じ、主として米国の株式を主要投資対象とする外国投資法人が発行する外国投資証券に実質的に投資することにより、信託財産の中長期的な成長をはかることを目的として運用を行います。	
主要投資 （運用）対象	当ファンド	GIMアメリカ成長株マザーファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）を主要投資対象とします。
	マザーファンド	以下の2ファンドを主要投資対象とします。 ①JPモルガン・ファンズ-USグロース・ファンド 米国の法律に基づき設立・登記されている企業、または主たる経済活動を米国で行っている企業が発行する株式を主要投資対象とします。 ②GIMジャパン・マネープール・ファンドF（適格機関投資家専用） GIMマネープール・マザーファンド（適格機関投資家専用）を通じ、円建ての公社債を主要投資対象とします。
組入制限および 運用方法	当ファンド	マザーファンドを通じて運用を行います。為替ヘッジは行いません。株式への直接投資は行いません。なお、投資先ファンドを通じて株式へ投資します。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。投資信託の受益権等の投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	ファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。米国の株式に投資する米国株式ファンドの組入比率を高位に保つとともに、円建ての公社債に投資する「GIMジャパン・マネープール・ファンドF（適格機関投資家専用）」にも必ず投資します。為替ヘッジは行いません（投資先ファンドである米国株式ファンドにおいては、為替ヘッジを行います）。J.P.モルガン・アセット・マネジメント <sup>(※)</sup> のグローバルなネットワークを活用します。株式への直接投資は行いません。なお、投資先ファンドを通じて株式へ投資します。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。投資信託の受益権等の投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
分配方針	年1回の決算時（1月25日（休業日の場合は翌営業日））に基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

(※) J.P.モルガン・アセット・マネジメントは、JPモルガン・チェース・アンド・カンパニーおよび世界の関連会社の資産運用ビジネスのブランドです。



## ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

年間騰落率（毎月末時点）の平均と振れ幅を、ファンドと代表的な資産クラスとの間で比較したものです。



(注)

- ファンドの年間騰落率（毎月末時点）は、毎月末とその1年前における基準価額を対比して、その騰落率を算出したものです。（月末が休日の場合は直前の営業日を月末とみなします。設定から1年未満の時点では算出されません。）
- 基準価額は、信託報酬控除後です。
- 代表的な資産クラスの年間騰落率（毎月末時点）は、毎月末とその1年前における下記の指数の値を対比して、その騰落率を算出したものです。（月末が休日の場合は直前の営業日を月末とみなします。）
- ファンドと代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較は、上記の5年間の毎月末時点における年間騰落率を用いて、それらの平均・最大・最小をグラフにして比較したものです。ただし、ファンドは設定から6年未満で、設定日から2021年12月末までは年間騰落率が算出されないことから、それ以降の毎月末時点における年間騰落率を用いています。
- ファンドは、代表的な資産クラスの全てに投資するものではありません。
- 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

○代表的な資産クラスを表す指数

- 日本株・・・TOPIX（配当込み）
- 先進国株・・・MSCIコクサイ指数（配当込み、円ベース）
- 新興国株・・・MSCIエマーシング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
- 日本国債・・・NOMURA-BPI（国債）
- 先進国債・・・FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
- 新興国債・・・JPモルガンGBI-エマーシング・マーケット・グローバル（円ベース）

（注）海外の指数は、為替ヘッジを行わないものとして算出されたものです。なお、MSCI コクサイ指数（配当込み、円ベース）およびMSCI エマーシング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、委託会社に円換算しています。

TOPIX（東証株価指数）は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標準又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。MSCIコクサイ指数およびMSCIエマーシング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が発表しています。同インデックスに関する情報の確実性および完結性をMSCI Inc.は何ら保証するものではありません。著作権はMSCI Inc.に帰属しています。MSCIコクサイ指数（配当込み、円ベース）およびMSCIエマーシング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、同社が発表したMSCIコクサイ指数（配当込み、米ドルベース）およびMSCIエマーシング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）を委託会社にて円ベースに換算したものです。

NOMURA-BPI（国債）は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が作成している指数で、当該指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しております。また、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、当該インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。JPモルガンGBI-エマーシング・マーケット・グローバルは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しています。

## 当ファンドのデータ（2024年1月25日）

## ◎組入資産の内容

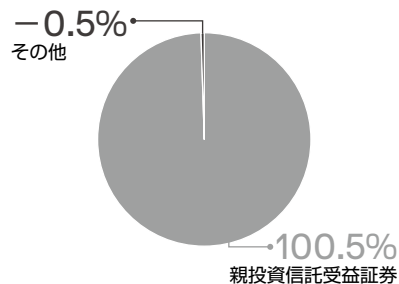
## ○組入ファンド等

アメリカ成長株マザーファンド（為替ヘッジあり）	100.5	%
その他	△0.5	
組入銘柄数	1銘柄	

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) その他は現金・預金・その他資産（負債控除後）です（以下同じ）。

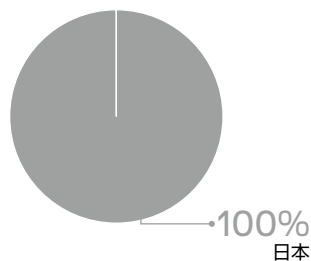
## ○資産別配分



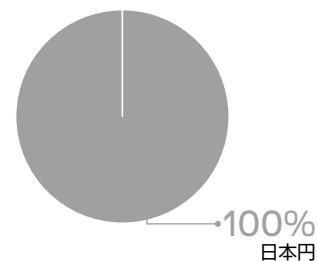
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分は発行国または地域を表示しています。なお、当ファンドの実質的な投資内容は、次ページ以降をご参照ください。

## ○国別配分



## ○通貨別配分



## ◎純資産等

項 目	当期末
	2024年1月25日
純 資 産 総 額	2,481,624,950円
受 益 権 総 口 数	2,404,079,983口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額	10,323円

(注) 当期中における追加設定元本額は410,123,708円、同解約元本額は697,080,501円です。

◎組入上位ファンドの概要

◆アメリカ成長株マザーファンド（為替ヘッジあり）（2024年1月25日）

○基準価額等の推移

（2023年1月26日～2024年1月25日）



(注) ラッセル 1000 グロース・インデックス（税引き後配当込み、円ヘッジ、円ベース）は、当ファンドの実質的な主要投資対象であるJPM USグロース（クラス）（円建て、円ヘッジ）のベンチマークであり、当ファンドのベンチマークではありません。グラフの始点の日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

○1万口当たりの費用明細

（2023年1月26日～2024年1月25日）

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (その他)	円 0 (0)	% 0.001 (0.001)
合計	0	0.001

期中の平均基準価額は、9,159円です。

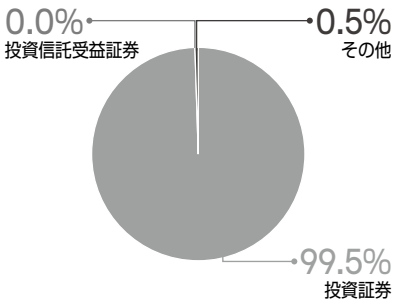
(注) 項目の概要については、前記当ファンドに投資している投資信託の運用報告書「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。  
 (注) 各項目は簡便法により算出し、円未満は四捨五入です。  
 (注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○組入上位10銘柄

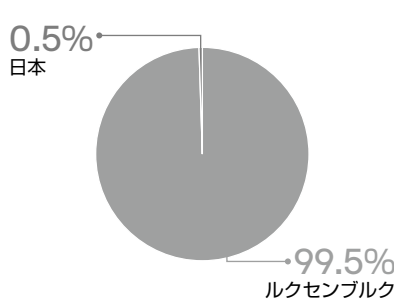
銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
JPM US GROWTH FUND I JPY HD	投資証券	日本円	ルクセンブルク	99.5%
GIMジャパン・マネーブル・ファンドF（適格機関投資家専用）	投資信託受益証券	日本円	日本	0.0
組入銘柄数	2銘柄			

(注) 国（地域）は発行国または地域を表示しています。  
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しています。  
 (注) 比率は純資産総額に対する割合です。

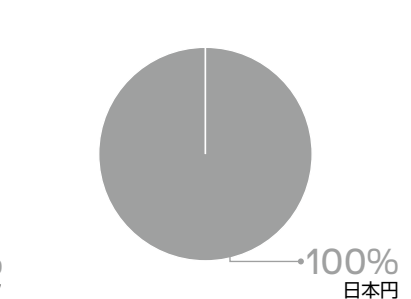
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。  
 (注) 資産別配分のその他は現金・預金・その他資産（負債控除後）です。国別および通貨別配分のその他は現金、預金、その他資産（負債控除額）を含みます。  
 (注) 国別配分は発行国または地域を表示しています。

◎組入上位ファンドの概要

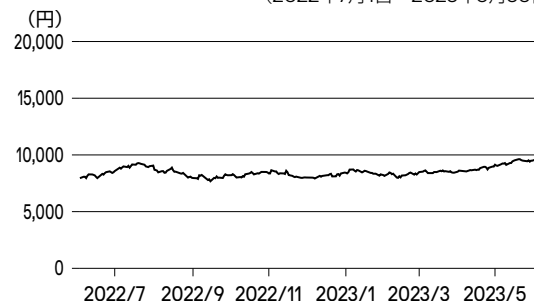
◆JPモルガン・ファンズ-USグロース・ファンド（2023年6月30日）

JPM USグロース（1クラス）（円建て、円ヘッジ）

米国の法律に基づき設立・登記されている企業、または主たる経済活動を米国で行っている企業が発行する株式を主要投資対象とします。

○基準価格の推移

（2022年7月1日～2023年6月30日）



○直近計算期間におけるTER（総費用率）

0.76%

（注）TER（総費用率）は、運用にかかる費用の合計をファンドの純資産の日次平均に対する比率で表したものです。運用にかかる費用の合計には、運用および顧問報酬、保管報酬、税金、その他費用が含まれております。当座貸越利息と実績報酬は計算対象から除いております。

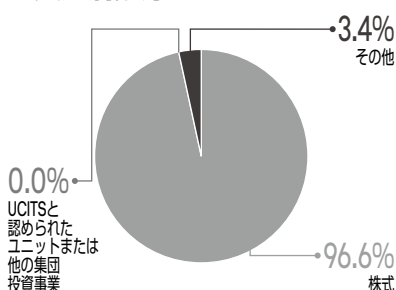
（注）1万口当たりの費用明細が取得できないため、TER（総費用率）を表示しています。

○組入上位10銘柄

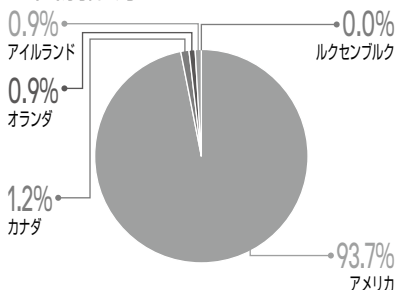
銘柄名	国（地域）	業種／種別等	比率
Apple, Inc.	米国	情報技術	9.8%
Microsoft Corp.	米国	情報技術	9.8
NVIDIA Corp.	米国	情報技術	5.5
Amazon.Com, Inc.	米国	一般消費財・サービス	5.1
Alphabet, Inc. 'C'	米国	コミュニケーション・サービス	4.9
Meta Platforms, Inc. 'A'	米国	コミュニケーション・サービス	4.1
Tesla, Inc.	米国	一般消費財・サービス	2.7
Netflix, Inc.	米国	コミュニケーション・サービス	2.7
Oracle Corp.	米国	情報技術	2.2
Lowe's Cos., Inc.	米国	一般消費財・サービス	2.1
組入銘柄数	68銘柄		

（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しています。  
 （注）国（地域）別については、MSCI分類に基づき分類していますが、当社の判断に基づき分類したものが一部含まれます。  
 （注）業種については、GICS分類に基づき分類していますが、当社グループの判断に基づき分類したものが一部含まれます。  
 （注）比率は純資産総額に対する割合です。

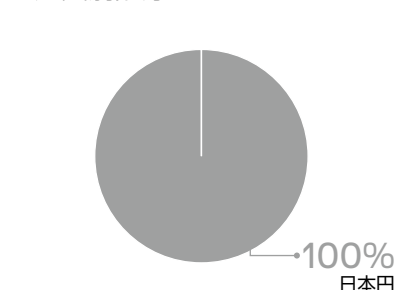
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は純資産総額に対する割合です。  
 （注）資産別配分、国別配分のその他は現金・預金・その他資産（負債控除後）です。  
 （注）国別配分は、監査済み年次報告書にもとづき表示しています。  
 （注）通貨別配分は、監査済み年次報告書に開示されていないため、建値通貨を表示しています。

## ◎組入上位ファンドの概要

### ◆GIM ジャパン・マネープール・ファンドF（適格機関投資家専用）（2024年1月15日）

GIM ジャパン・マネープール・ファンドF（適格機関投資家専用）は、GIM マネープール・マザーファンド（適格機関投資家専用）を主要投資対象とします。

### ○基準価額の推移



### ○1万口当たりの費用明細

(2023年1月17日～2024年1月15日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) 信 託 報 酬	10	0.104
( 投 信 会 社 )	(7)	(0.071)
( 販 売 会 社 )	(1)	(0.011)
( 受 託 会 社 )	(2)	(0.022)
(b) そ の 他 費 用	18	0.185
( 監 査 費 用 )	(2)	(0.019)
( そ の 他 )	(16)	(0.165)
合 計	28	0.289

期中の平均基準価額は、9,941円です。

(注) 項目の概要については、前記当ファンドに投資している投資信託の運用報告書「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注) 各項目は簡便法により算出し、円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

### ○マザーファンドの組入上位10銘柄

銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 ( 地 域 )	比率
第141回利付国債(5年)	国債証券	日本円	日本	29.3%
第340回利付国債(10年)	国債証券	日本円	日本	13.9
第149回利付国債(5年)	国債証券	日本円	日本	9.8
第333回利付国債(10年)	国債証券	日本円	日本	8.1
第1139回国庫短期証券	国債証券	日本円	日本	8.1
第1192回国庫短期証券	国債証券	日本円	日本	8.1
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
組入銘柄数	6銘柄			

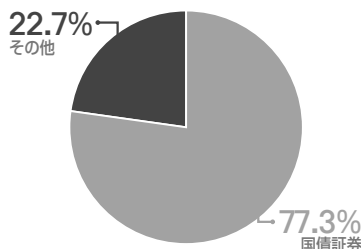
(注) 国（地域）は発行国または地域を表示しています。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しています。

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) ファンドはマザーファンドを通じて投資を行うため、マザーファンドの投資銘柄をファンドが直接保有しているものとみなし、ファンドの純資産総額に対する投資比率として計算しています（以下同じ）。

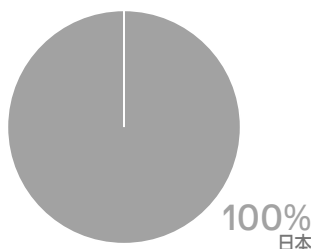
### ○資産別配分



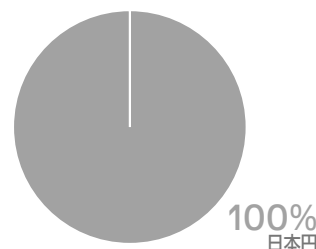
(注) 国別配分は発行国または地域を表示しています。

(注) その他は現金・預金・その他資産（負債控除後）です。

### ○国別配分



### ○通貨別配分



余白

余白

